

沖縄米軍捕虜収容所埋葬者が判明

沖縄平和の礎リスト

当会は、平成21年2月アメリカ国立公文書館の協力で、太平洋戦争における、日本兵捕虜埋葬地リスト(英文)5979人入手し、遺族捜しを行っておりますが、沖縄県の協力で、沖縄収容所における埋葬者リスト(日本語)240人を作成し、沖縄平和の礎で180名の名前を検出することができました。

- | | | | |
|-----|----------------------|-----|-------------------------------|
| 1 | 青山 弘 (愛知) | 23 | 上原 正 (愛知) |
| 2 | 浅井 敏男 (群馬) | 24 | 進・正進・政信2人 (正信沖縄3人・政進・正進・政信2人) |
| 3 | 荒木 幸雄 (群馬) | 25 | 上原文太郎 (沖縄仲里・島尻) |
| 4 | 井 休 (熊本) | 26 | 上原 寛一 (沖縄与那城) |
| 5 | 池田幸之助 (三重) | 27 | 内田 俊夫 (高知) |
| 6 | 伊佐 全盛 (沖縄宜野湾) | 28 | 内田福太郎 (埼玉) |
| 7 | 善正 (伊佐) | 29 | 運天カマド (今帰仁に3人) |
| 8 | 伊佐 盛友 (沖縄豊見城・志芳田) | 30 | 江口新八郎 (東京) |
| 9 | 石川 一男 (北海道支庁) | 31 | 江崎 正雄 (愛知) |
| 10 | 石川 茂 (千葉・愛知) | 32 | 岡本 弘 (高知) |
| 11 | 伊敷 カナ (沖縄真栄吉・与座) | 33 | 奥野 武雄 (大阪) |
| 12 | 石原 虎喜 (熊本) | 34 | 奥野 真徳 (沖縄首里・中城・玉城) |
| 13 | 石原 虎喜 (熊本) | 35 | 奥村 正 (広島) |
| 14 | 石原 虎喜 (熊本) | 36 | 奥本 薫 (福岡) |
| 15 | 伊藤 隆造 (愛媛・福岡) | 37 | 大城 龜一 (沖縄国頭・具志頭) |
| 16 | 井上 貞一 (京都・兵庫) | 38 | 大城助三郎 (沖縄豊見城) |
| 17 | 岩井 李治 (香川) | 39 | 大城 恒 (西原) |
| 18 | 岩井 義治 (千葉) | 40 | 大城 徳栄 (沖縄伊江・中城・南風原) |
| 19 | 岩本 忠夫 (北海道支庁) | 41 | 大田 秀吉 (三重) |
| 20 | 岩本 忠夫 (北海道支庁) | 42 | 大屋 善助 (沖縄糸満) |
| 21 | 新沼 福井・長崎 (北海道支庁) | 43 | 翁長 龜次郎 (沖縄読谷) |
| 22 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 44 | 加藤 義男 (沖縄読谷) |
| 23 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 45 | 加藤 勇 (愛知) |
| 24 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 46 | 金城 憲一 (沖縄糸満・沖縄) |
| 25 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 47 | 金城 俊男 (沖縄糸満) |
| 26 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 48 | 首野 幸蔵 (北海道十勝支庁) |
| 27 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 49 | 川上 龍雄 (福島) |
| 28 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 50 | 河島 了一 (岐阜) |
| 29 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 51 | 川村 時雄 (京都) |
| 30 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 52 | 川本 影久 (東京) |
| 31 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 53 | 菅野 忠衛 (北海道支庁) |
| 32 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 54 | 岸 喜一郎 (埼玉) |
| 33 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 55 | 岸原 巖 (東京) |
| 34 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 56 | 北川政次郎 (北海道支庁) |
| 35 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 57 | 北田 宗一 (滋賀) |
| 36 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 58 | 北林 多吉 (秋田) |
| 37 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 59 | 喜納 賢一 (沖縄那覇) |
| 38 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 60 | 木下 国春 (熊本) |
| 39 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 61 | 木山 源七 (鹿児島) |
| 40 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 62 | 金城 栄吉 (沖縄読谷) |
| 41 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 63 | 谷 那覇 首里 (沖縄読谷) |
| 42 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 64 | 金城セイコーで38人 |
| 43 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 65 | 金城 三郎 (沖縄恩納) |
| 44 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 66 | 久高 将守 (沖縄東村) 高嶺7月10日死亡 |
| 45 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 67 | 工藤 正雄 (北海道支庁) |
| 46 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 68 | 増田 耕作 (埼玉) |
| 47 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 69 | 小松 孝 (北海道支庁) |
| 48 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 70 | 小林 繁美 (長野) |
| 49 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 71 | 佐井 忠光 (北海道支庁) |
| 50 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 72 | 佐伯 宣一 (富山) |
| 51 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 73 | 坂根 直次 (京都) |
| 52 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 74 | 佐藤 今朝雄 (福島、大分) |
| 53 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 75 | 佐藤 昇 (石狩) |
| 54 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 76 | 浮照 正 (徳島) |
| 55 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 77 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 56 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 78 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 57 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 79 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 58 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 80 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 59 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 81 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 60 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 82 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 61 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 83 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 62 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 84 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 63 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 85 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 64 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 86 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 65 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 87 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 66 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 88 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 67 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 89 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 68 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 90 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 69 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 91 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 70 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 92 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 71 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 93 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 72 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 94 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 73 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 95 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 74 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 96 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 75 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 97 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 76 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 98 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 77 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 99 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 78 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 100 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 79 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 101 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 80 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 102 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 81 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 103 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 82 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 104 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 83 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 105 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 84 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 106 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 85 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 107 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 86 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 108 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 87 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 109 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 88 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 110 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 89 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 111 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 90 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 112 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 91 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 113 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 92 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 114 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 93 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 115 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 94 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 116 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 95 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 117 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 96 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 118 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 97 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 119 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 98 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 120 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 99 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 121 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 100 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 122 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 101 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 123 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 102 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 124 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 103 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 125 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 104 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 126 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 105 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 127 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 106 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 128 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 107 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 129 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 108 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 130 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 109 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 131 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 110 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 132 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 111 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 133 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 112 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 134 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 113 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 135 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 114 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 136 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 115 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 137 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 116 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 138 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 117 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 139 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 118 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 140 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 119 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 141 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 120 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 142 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 121 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 143 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 122 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 144 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 123 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 145 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 124 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 146 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 125 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 147 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 126 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 148 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 127 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 149 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 128 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 150 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 129 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 151 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 130 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 152 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 131 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 153 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 132 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 154 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 133 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 155 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 134 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 156 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 135 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 157 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 136 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 158 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 137 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 159 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 138 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 160 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 139 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 161 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 140 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 162 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 141 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 163 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 142 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 164 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 143 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 165 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 144 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 166 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 145 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 167 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 146 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 168 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 147 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 169 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 148 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 170 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 149 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 171 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 150 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 172 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 151 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 173 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 152 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 174 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 153 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 175 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 154 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 176 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 155 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 177 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 156 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 178 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 157 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 179 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 158 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 180 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 159 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 181 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 160 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 182 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 161 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 183 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 162 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 184 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 163 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 185 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 164 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 186 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 165 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 187 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 166 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 188 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 167 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 189 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 168 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 190 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 169 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 191 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 170 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 192 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 171 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 193 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 172 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 194 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 173 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 195 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 174 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 196 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 175 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 197 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 176 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 198 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 177 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 199 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |
| 178 | 上原 加吉 (沖縄名護) 屋嘉病院で死亡 | 200 | 兵庫 福島・東京・大分 (宮城、福岡) |

平和の灯

題字 津留崎 尚
戦没者を慰霊し 平和を守る会発行
〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町 江口7561
塩川総合企画(株)内 塩川正隆
発行責任者 塩川正隆
電話 0942-89-5135
FAX 89-9281
e-mail:senbo-peace@senbotsusya.com
http://www.senbotsusya.com

加入者名 戦没者を慰霊し平和を守る会
口座記号番号 01790-6-0565
ゆうちょ銀行
ゆうちょ番号

会員募集とNPO活動支援募金のお願について
当会の運営は皆様の会費と募金によって行っています
ご入金先
ゆうちょ銀行
口座記号番号 01790-6-0565
加入者名 戦没者を慰霊し平和を守る会



平和の礎

記者会見で遺族捜し 「26遺族が名乗り出」

全ての遺族が 遺骨は帰っていない

本リストを元に、今年6月から8月まで沖縄から北海道に至る全国14都道府県で記者会見を行い、遺族捜しを呼びかけましたが、現在26組の遺族が自分の肉親ではないかと名乗り出られています。

しかし、全ての遺族に遺骨は返されていません。☆は御遺族の名乗り出があった方

帰れたはずの 遺骨はどこに

戦時中沖縄には、9か所の埋葬地が存在していたようです。この件に関して厚生労働省は「会に「名前がわかる遺骨は遺族に帰した」と回答していますが、「帰れたはずの遺骨はどこに」あるのでしょうか？」

遺族の方々と共に現地調査を行い真相究明を行いたいと思います。

昨年、筑紫哲也氏が癌のため亡くなった。生前、直接お会いすることは無かったが、ニュース23で私たちのNPO活動を何度も取り上げてもらったので、当方は勝手に応援団長と思っていた。その筑紫氏が20年ほど前に何かの雑誌に書いていたコラムで、「地獄への道は善意が舗装する。」という西洋の諺が何かを引用されていた。昨日の夕食の記憶も覚えているが、記憶に覚えているのは、きつと何かの訳があるのだろう。正確な意味はよく分からないが、「戦争への道は正義が作り上げる」とも読み取れる。言うまでもなく、「アジア諸国を欧米列強から解放するため」も正義であり、「圧政に苦しむイラク国民のため」も正義である。今年、その筑紫氏とも親交のあった忌野清志郎というロック歌手も癌のため亡くなった。彼が、ジョン・レノンの「イマジーン」を日本語でカバーしているのだから、原曲にはない「僕は薄着で笑ってる」という詞を追加して歌っている。この意味が長い間分からなかったのだが、「僕は武力を放棄して平和に暮らしている」と憲法9条のことを歌っているのではないかと最近確信した。筑紫氏は、本来執筆活動が本職だと思いが、あえて大衆によりアピールするテレビというメディアを選択し、弱者の視点を忘れない報道を続けてこられた。忌野氏は「君が代」を収録したり、反原発の曲を作り、何度もレコード会社からの発売中止・放送禁止という弾圧を受けたが、最後まで自分の信念を曲げなかった。この二人の遺志を受け継ぐ気持で、平和活動を続けていきたいと思う。(T)

出前講演会、ならびに戦時遺留品の貸し出しを行っています。



春日北小学校遺留品展示



佐賀県連合青年団講演会風景

当会の活動の輪を広げるために、また多くの方々に現在戦没者が置かれている現状を訴えるため、各種団体などからの要請により、講演会や当時の遺留品の貸し出しを行っています。

直近では8月に3回の講演会、また佐賀市の平和展に遺留品の貸し出しを行いました。

春日北小学校にて 平和学習

平成21年8月6日に佐賀市私立春日北小学校の平和授業の一環として、5・6年生を対象として、当会の活動内容や現在戦没者の置かれている現状についてお話をしました。

修学旅行で長崎に行かれ、原爆資料館など見学されており、先の大戦にかかると習を日ごろよりされておられる熱心なお話を聞いていただきました。また、当時の遺留品の展示も行い、日記や軍人心得など実際に触れ読んでいただきました。

担当 理事 山本谷川

佐賀県連合青年団にて 平和講演

平成21年8月15日に佐賀県連合青年団主催による、平和学習会に講演の依頼があり実施しました。十数名の参加者があり、当会活動内容の紹介、戦没者の置かれている現状についてお話をいたしました。会場が座敷で皆さんと打ち解けた雰

囲気にてお話しすることが出来ました。皆さん当会の活動に興味を持っていただき、機会があれば遺体収容の旅に参加したいとのことでした。

担当 理事 山本、専門員 兵藤

佐賀県母親大会にて 平和講演

平成21年8月23日、佐賀市アバンセにおいて開催された第46回佐賀県母親大会において当会の理事・専門員である山本直樹が「戦没者を遺族のもとへ―戦後63年の現実」と題して当会の活動の内容、今後の取り組みについて講演を行いました。主催者からのコメントも寄せられましたので紹介し、報告します。

「佐賀県母親大会主催者」からの「コメント」

第46回佐賀県母親大会に 350人、平和を学び、交流

講演はNPO法人「戦没者を慰霊し平和を守る会」

第46回佐賀県母親大会は8月23日(日)佐賀市のアバンセで、実行委員会主催で佐賀県内各地から350人が参加して、開催されました。

午前中は、先に京都で開催された第55回日本母親大会参加者の報告。続いて、記念講演は、NPO法人「戦没者を慰霊し平和を守る会」の理事・山本直樹さんによる「戦没者を遺族のもとへ―戦後63年の現実」と題して、映像と講演。午後は教育、雇用、医療・介護、年金、環境、平和など6つの分科会に分かれて討議、学習、交流しました。

講演で山本直樹氏は、今なお、多くの戦没者の遺骨が、遺族のもとへ帰っていない現実を問い、政府の責任にせまり、「会」が遺骨収集に取り

組む中で、「二度と戦争は繰り返してはいけない」と、戦争の悲惨さを若者たちに伝えていく地道な取り組みが紹介され、参加者に大きな感銘を与えました。映像と講演で、多くの感想が寄せられました。

感想

* 戦争の最後の決戦地、沖繩では64年経過した今でも戦争の傷跡は生々しく残されている。日本政府はなぜ、戦後処理である遺骨を放置しているのか、怒りがわいてきた。「会」の活動の意味が良く理解できた。

* ビデオを使った講演はわかりやすかった。映像「沖繩でのNPOの「会」の方々の遺骨発掘活動を初めて見ました。8月の長崎の原爆資料館にも、若い人があふれていました。行きなさいという年齢の人がおられるからです。遺骨収集に中高生も参加できるように知恵を絞りたいですね。

* 映像の視点が良かったです。若い人が体験を通して平和の重みを感じるといふ、手間ひまかかる取り組みを継続しておられる「戦没者を慰霊し平和を守る会」に敬意を表します。

* 以前テレビで見ましたが、今日改めてみて、遺骨収集の意味、生きていた(人としての希望も願望もあったはず)息づかいを感じ、若者たちの感動にふれ、私も感動しました。体験により自分のものになる、同感です。

* 世界中から戦争がなくなるように、核兵器廃絶をめざし、唯一の被爆国である日本から、もつと憲法9条を押し出し、平和外交を進める政府を国民の手で選びだしましょう。

この佐賀県母親大会に先立ち、全国規模の第56回日本母親大会(7月25日～26日(日)京都)には17500人が集まり、子供と教育、くらし、権利・労働、平和と民主主義などさまざまな問題をテーマに学び交流しました。記念講演は京都9条の会の呼びかけ人でもある金閣寺、銀閣寺の住職の有馬頼底さん。豪雨に見舞われながらも大成功を収めました。佐賀県から代表20人が参加しました。この歴史と伝統を持つ母親大会のはじまりは、

55年前の1954年、アメリカの水爆実験によってマグロ漁船員の久保山愛吉さんが亡くなり、広島長崎に告ぐ3度目の被爆に母親たちは怒り、平塚らいてう達5人は、全世界に向け「原水爆禁止のための訴え」を送り、1955年スイスのローザンヌで世界母親大会の開催が決まりました。それに先立ち6月、第1回日本母親大会が東京で開かれ、日本各地の炭鉱や農村からも、1円募金などで送り出された2000人の母親が集まりました。世界大会には河崎なつを団長にあらゆる分野から代表を選び、14人が参加したのです。幅広い母親運動の出発点です。帰国後の報告会は、全国各地で数千回開かれ、各地に母親運動が広がりました。核兵器の廃絶や

子供たちを小児マヒから守るための生ワクチンの緊急輸入、教育、くらし、環境、平和など、さまざまな問題に取り組み、55年余歩み続けてきました。世界母親大会に寄せられてギリシャの詩人ペリダイスの詩の「生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることのぞみです」は、今日まで連帯のスローガンとなつています。



【第46回佐賀県母親大会】講演風景

「第14回同比」

合同追悼式」を開催

—フィリピン・レイテ島—

1000人の児童に学用品を贈る

平成21年7月26日から8月1日まで、フィリピン・レイテ島を訪問しました。

今回の訪問は、「第14回日比合同追悼式典」参加と友好親善のためレイテ島の小学校や、日本軍用品等を贈るためです。今年もバリテ小学校の児童30人が式典に参加し、民族の踊りを披露してくれました。

今回の訪問で、多くの日本軍兵士が亡くなった、レイテ島の十字架架山の麓の小学校や、日本軍周辺の地カンギポット山周辺の小学校など5校の児童1000人の児童にノート・鉛筆・履物などを贈りました。

当会は1995年10周年でバリテ小学校に教室3棟を寄贈していますが、来年は日比合同追悼式典15周年を迎えることもあり、バリテ小学校に感謝し保健室を寄贈することとしました。

また、今回初参加の元年でバリテ小学校に教室3棟を寄贈して、今年も授業を飛び入りでされ、児童や先生・父兄の拍手喝采を受け、大いに盛り上がりました。



保健室建設予定地



授業風景



学用品の寄贈

厚生労働省「フィリピン遺骨収集応急派遣」の報告

平成21年7月9日から16日まで、厚生労働省の依頼により、フィリピン遺骨収集応急派遣で調査を行いました。派遣委員による報告を紹介します。

今回、遺骨収集応急派遣団の一員としてフィリピンでの遺骨収集と現地調査に参加させて頂きました。

私はこれまで、人口が埋没してしまった防空壕を探すために電気探査という方法で、約4年間沖縄での遺骨収集作業に参加していましたが、今回も沖縄同様戦争の悲惨さや60年以上経った今日も戦争は終わっていないという現実を痛感しました。

遺骨収集作業を行った場所は、首都マニラから約700km南東にあるレイテ島でした。レイテ島は多くの日本兵が戦死した島で、その中でも激戦地となったバロ町内にある米軍墓地跡地(現高校敷地内)、日本兵の防空壕があったとされる十字架山、オルモック市の近隣にあるカンギポット山の3箇所で作業を行いました。

特に十字架山については、平成17年に電気探査を実施した場所であり、今回はその調査結果に基づいて掘削を行う計画だったため、何とか埋没壕につながる手がかりが見つかって欲しいという強い思いをもって現地に向かいました。作業前日までにバロ町の町長、地元的地権者の方に面会し不備の無いように望んだものの、最終的な掘削許可を得るのに作業当日の午後までかかってしまい、また地権者との関係で掘

削範囲も限られた中で作業となりました。多くの現地の方々に協力して頂き作業を進めましたが、途中で岩盤に当たり掘削が困難となり、また掘削の関係で、電気探査で反応があった付近まで掘削出来ずに作業を終了することになったことが非常に残念であり、同時に国外で掘削作業する難しさを感じました。

また、米軍墓地跡地とカンギポット山についても、現地の方々の協力の元、懸命な収集作業が行われましたが、竹片・葉きょう・認識票が発見されたものの戦死者と思われる遺骨や遺品の発見には到りませんでした。

私はこれまでの沖縄やフィリピンでの遺骨収集作業に参加して、戦後60年以上経過しているという時間の壁が情報の不正確を生んで、今日の遺骨収集作業をより困難にしていると感じていました。本来ならば戦後早い段階で終了しているはずの遺骨収集作業が今日も続いている以上、今回のように地道な作業を継続していくことで、沖縄やフィリピン、硫黄島など戦地に残されている多くの戦死者の方々が遺族の元へ帰れることに繋がると同時に、一人でも多くの方が遺族の元へ帰れることを願っています。

日高弘志

当会員の専門委員として初めてフィリピンのレイテ島で遺骨収集に参加しました。メンバーは当会員3名の他に、今回の活動としては初めての厚生労働省の方が2名、またフィリピン政府より現地

で遺骨が出てきた場合、移動許可が必要という点で、マニラからフィリピン国立博物館館長が同行していただくことになり、計6名でレイテ島に乗り込むこととなりました。

発掘場所はレイテ島のタクロパン周辺にあるバロ町という場所で、3ヶ所を予定していましたが同時に国外で掘削作業する難しさを感じました。

また、米軍墓地跡地とカンギポット山についても、現地の方々の協力の元、懸命な収集作業が行われましたが、竹片・葉きょう・認識票が発見されたものの戦死者と思われる遺骨や遺品の発見には到りませんでした。

私はこれまでの沖縄やフィリピンでの遺骨収集作業に参加して、戦後60年以上経過しているという時間の壁が情報の不正確を生んで、今日の遺骨収集作業をより困難にしていると感じていました。本来ならば戦後早い段階で終了しているはずの遺骨収集作業が今日も続いている以上、今回のように地道な作業を継続していくことで、沖縄やフィリピン、硫黄島など戦地に残されている多くの戦死者の方々が遺族の元へ帰れることに繋がると同時に、一人でも多くの方が遺族の元へ帰れることを願っています。

日高弘志

当会員の専門委員として初めてフィリピンのレイテ島で遺骨収集に参加しました。メンバーは当会員3名の他に、今回の活動としては初めての厚生労働省の方が2名、またフィリピン政府より現地

で遺骨が出てきた場合、移動許可が必要という点で、マニラからフィリピン国立博物館館長が同行していただくことになり、計6名でレイテ島に乗り込むこととなりました。

次に向かったのはカンギポット山の西側中腹周辺を半日かけて現地の作業員(30名)と共に作業を行いました。この辺りは砲弾の一部と思われる金属片が出てきただけで、遺骨は見つかりませんでした。また以前から現地の方々に発見された骨が

あるという点で、実際に大股骨や膝蓋骨と足指と骨一部として玉5915と刻印された認識票などを確認しました。状況から考えても日本兵の遺骨と考えられますが、認識票以外には土地の管理者の話がつかず持ち帰ることができませんでした。

今回は今回できなかったガンギポット山の麓の周辺に流れる河川や日本軍陣地より更に奥にあり、現在場所が確認できなかった5ヶ所(深さが約1mで多数存在していたらしいが、今はもう埋まってしまう)また人しからわらない)また下山途中に現地の方より教えていただいた、旧日本軍の洞窟(約5ヶ所(垂直に2m以上の深さがあり、ロープを使わないと降りられない)あるという点)など、地元の方々に聞き取り調査しながら発掘する予定となりました。

次に向かったのはカンギポット山の西側中腹周辺を半日かけて現地の作業員(30名)と共に作業を行いました。この辺りは砲弾の一部と思われる金属片が出てきただけで、遺骨は見つかりませんでした。また以前から現地の方々に発見された骨が

あるという点で、実際に大股骨や膝蓋骨と足指と骨一部として玉5915と刻印された認識票などを確認しました。状況から考えても日本兵の遺骨と考えられますが、認識票以外には土地の管理者の話がつかず持ち帰ることができませんでした。

今回は今回できなかったガンギポット山の麓の周辺に流れる河川や日本軍陣地より更に奥にあり、現在場所が確認できなかった5ヶ所(深さが約1mで多数存在していたらしいが、今はもう埋まってしまう)また人しからわらない)また下山途中に現地の方より教えていただいた、旧日本軍の洞窟(約5ヶ所(垂直に2m以上の深さがあり、ロープを使わないと降りられない)あるという点)など、地元の方々に聞き取り調査しながら発掘する予定となりました。

も明らかに人骨でない(鳥や獣)の骨が多数あり、次回日程などの詳細を決めることとし、仕切りなおすこととなりました。

また以前から現地の方々に発見された骨があるという点で、実際に大股骨や膝蓋骨と足指と骨一部として玉5915と刻印された認識票などを確認しました。状況から考えても日本兵の遺骨と考えられますが、認識票以外には土地の管理者の話がつかず持ち帰ることができませんでした。

今回は今回できなかったガンギポット山の麓の周辺に流れる河川や日本軍陣地より更に奥にあり、現在場所が確認できなかった5ヶ所(深さが約1mで多数存在していたらしいが、今はもう埋まってしまう)また人しからわらない)また下山途中に現地の方より教えていただいた、旧日本軍の洞窟(約5ヶ所(垂直に2m以上の深さがあり、ロープを使わないと降りられない)あるという点)など、地元の方々に聞き取り調査しながら発掘する予定となりました。

次に向かったのはカンギポット山の西側中腹周辺を半日かけて現地の作業員(30名)と共に作業を行いました。この辺りは砲弾の一部と思われる金属片が出てきただけで、遺骨は見つかりませんでした。また以前から現地の方々に発見された骨が

あるという点で、実際に大股骨や膝蓋骨と足指と骨一部として玉5915と刻印された認識票などを確認しました。状況から考えても日本兵の遺骨と考えられますが、認識票以外には土地の管理者の話がつかず持ち帰ることができませんでした。

今回は今回できなかったガンギポット山の麓の周辺に流れる河川や日本軍陣地より更に奥にあり、現在場所が確認できなかった5ヶ所(深さが約1mで多数存在していたらしいが、今はもう埋まってしまう)また人しからわらない)また下山途中に現地の方より教えていただいた、旧日本軍の洞窟(約5ヶ所(垂直に2m以上の深さがあり、ロープを使わないと降りられない)あるという点)など、地元の方々に聞き取り調査しながら発掘する予定となりました。

作業に関する知識や経験が必要だと感じました。予想外だったのが、現地での作業中に切り傷や虫刺されなど少なからず怪我があり、ある程度の怪我に対応できるように医薬品(消毒液)などを多く持参し、もっと安心安全を心がけるべきだったと思います。

またスタッフ同士の連絡を取るための手段がなく、携帯電話(レンタルするなど)も必要でないかと考えます。

しかし大きな事故もなく無事に作業ができたのは、当会である塩川氏や日高氏の努力はもちろんのこと、遺骨発掘許可や移動できるよう様々な方面に申請し、奔走してくださった厚生労働省の梅原氏と金澤氏、そして通訳ガイドのエリ氏をはじめスタッフ一同、また様々な助言をいただいたデイリー・マニラ新聞の酒井氏、自分たちの思いを理解し協力いただいた現地の方々全てに感謝します。この経験は必ず次に生かれ、より多くの遺骨が日本へ帰ることを願わずにはいられません！

次回もし渡航できるなら再度チャレンジしたいと思っております。ありがとうございました。

兵藤啓一郎

教会での作業



教会での作業

